

オーブンレンジ

CFM-BA161

取扱説明書



この製品は、海外ではご使用になれません
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1
使用上のご注意	7
加熱のしくみ	8
使える容器・使えない容器	9
各部の名称	11
ご使用前の準備	13
使いかた(基本操作/自動調理/手動調理)	15
お手入れ	30
故障かな?と思ったら	31
仕様	33
保証とアフターサービス	34
電源周波数と地域について	34
保証書	裏表紙

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

その表示と意味は、次のようになっています。

- この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、3つに区分しています。

 危険	人が死亡または重傷を負う可能性が高い内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容

- お守りいただく内容を、図記号で区分して説明しています。

 してはいけない 「禁止」の内容	 必ず実行していただく 「強制」の内容	 「注意をうながす」内容
--	---	---

危険



分解禁止

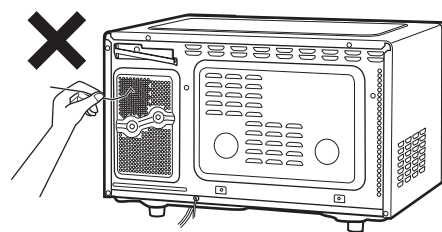
分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。
修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。



吸気口・排水口や製品のすきま、庫内の開口部に、
異物をいれない

火災・感電・けがの原因になります。
異物が入ったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



警告

電源プラグ・電源コードは



電源プラグのほこりは定期的にとる

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災・感電の原因になります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、使用後1分は冷却のため、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。



電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。



持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。



電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものをのせる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

アースは



アースを
必ず接続

アースは必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法律でアース工事（D種接地工事）が義務付けられています。

- 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
飲食店の厨房など
- 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ



水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を接地する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。
（ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。）
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

調理中は

- ❗ 繊維質の多い食材・小さく切った食材・少量の食材は発火することがあるので、注意するラップをする、加熱し過ぎないなど注意して調理してください。
- 🚫 調理中はそばを離れない
食材が発煙・発火することがあるので、注意してください。

レンジ加熱中は

- ❗ 卵は必ず黄身まで割りほぐしてから加熱する
- ❗ 殻や膜付きの食材は必ず切れ目を入れる
- ❗ びんや密封容器のふたは必ず外してから加熱する
破裂して、けがややけどの原因になります。
- ❗ 乳幼のミルクやベビービッド、介護食などをあたためるときは、加熱後かき混ぜて温度を確認するやけどのおそれがあります。
- 🚫 缶詰・びん詰め・袋詰め・レトルト食品・真空パック食品は加熱しない
破裂のおそれがあります、必ず別容器に移し替えてから加熱してください。
- 🚫 ゆで卵、目玉焼きなどは加熱しない
爆発して大変危険です。

飲み物などの加熱時は

- ❗ 加熱し過ぎないように注意する
- ❗ 加熱前・加熱後はスプーンなどでかき混ぜる
飲み物や油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。
加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

その他

 吸気口・排気口をふさがない
火災の原因になります。

 屋外で使用しない

 壁や家具、カーテンなど、燃えやすいものの近くで使用しない

 畳・じゅうたん・テーブルクロスなど熱に弱いものの上で使用しない
火災の原因になります。

 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
水ぬれ禁止

 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。
水ぬれ禁止

 スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）

 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない



 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。

 子供など取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない

 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。

 扉に無理な力を加えない
変形して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、火災の原因になります。

 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

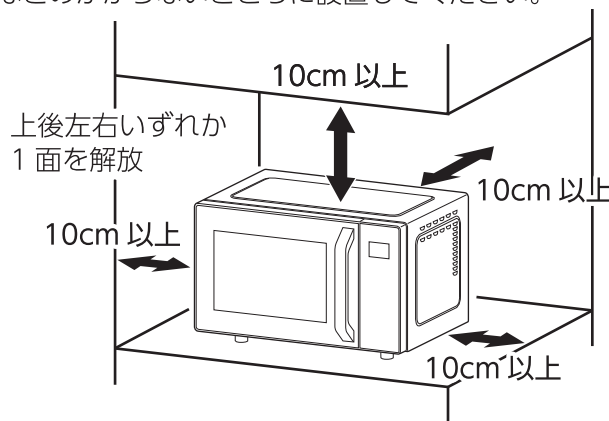
【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々電源が切れる
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

安全に設置する

- ❗ 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、落下・転倒してけがや火災の原因になります。
- ❗ 壁・家具・カーテンなどから図に示す距離を離す
壁・家具・カーテンの損傷・汚損、さらにせまい場所に設置すると、加熱・火災の原因になります。
風通しがよく、水などのかからないところに設置してください。



- ⊘ 肩より高い位置に設置しない
食材を取り出すときに不安定になり、けがややけどの原因になります。
 - ⊘ 本体の上や下にもものを置かない
火災の原因になります。
-
- ⊘ 本体が転倒・落下した場合は、外部に損傷がなくても使用しない
 - ⊘ 扉が損傷したときは使用しない
感電や電波漏れによる人体への被害のおそれがあります。点検・修理は、お買い上げの販売店へご依頼ください。
 - ⊘ 扉にものはをさんだまま使用しない
誤作動して電波漏れにより人体に被害を及ぼしたり、過熱して火災の原因になります。

電源プラグ・電源コードは

-  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
-  長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
- ⊘ 電源コードは本体の下を通さない
火災の原因になります。

加熱禁止



レンジで金属容器や金串は使用しない

放電・火花・過熱・やけどの原因になります。
アルミホイルを使用する場合は、庫内壁面に近づけないよう注意してください。



鮮度保持材（脱酸素剤）を入れたまま加熱しない

火災の原因になります。



庫内が空のまま加熱しない

過熱して火災の原因になります。



衣類の乾燥や、ふきん・テーブル拭きなどの乾燥・消毒・殺菌など、調理以外の用途に使用しない

火災や異常動作の原因になります。



業務など家庭用以外で使用しない

本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外の用途に使用すると、火災などの原因になります。

加熱中・加熱後は



接触禁止

高温になっている部分にさわらない

加熱中・加熱後しばらくは、容器・扉・庫内などが熱くなっていることがあるので、やけどのおそれがあります。
食器を取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用してください。



高温注意

ラップを外すときは注意する

蒸気でやけどするおそれがあります。

食材が発煙・発火した場合は



扉を開けない

食材が発火した場合は、すぐに調理を中止し、電源プラグを抜いて、炎が消えるまで扉を開けないでください。
空気が流れ込み、炎が大きくなります。
また、扉に水をかけないでください。ガラス窓が割れることがあります。

その他



庫内は常にきれいにする

発火するおそれがあります。
また、庫内が損傷すると、電波漏れなど危険な状態になるおそれがあります。



丸皿に衝撃を加えない

破損してけがの原因になります。

2. 使用上のご注意

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- 無線LAN機器から離してください。
無線LAN通信機能が低下する場合があります。
- 本製品は家庭用として設計されています。
業務用など家庭用以外の用途に使用すると、短時間での破損・故障の原因になります。
- 加熱中は加熱むらをおさえるために付属の「丸皿」が回ります。
回転方向は調理のたびに変わることがあります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

3. 加熱のしくみ

- 本製品は、「レンジ加熱」・「ヒーター加熱（グリル・オーブン）」の加熱機能であたため調理を行います。

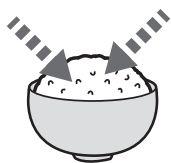
レンジ加熱のしくみ

電波（高周波）で食品を内と外から同時に加熱します。

- 電波（高周波）が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子に摩擦運動が起きます。この摩擦運動による熱で、食品は内と外から加熱されます。

電波の特性

水分のある食品は、吸収されます。



水分が凍っていると、電波が吸収されにくくなります。



耐熱性のあるガラス容器、陶器などは、透過します。



金属製の器などは、反射します。



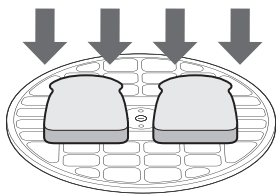
※火花が出ることがあります。

ヒーター加熱のしくみ

庫内の上・下ヒーターを使用して加熱します。

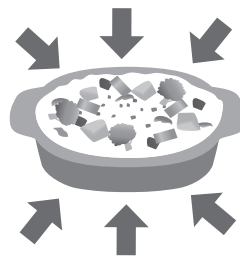
グリル加熱

上ヒーターを使用し、高温で焼き上げます。表面に焼き色をつけたり、火の通りやすい食品を調理するときに使用します。



オーブン加熱

庫内全体を上下のヒーターで一定に保ち、じっくり焼き上げます。中まで熱を通すときに使用します。



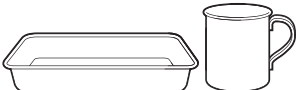
レンジ加熱+ヒーター加熱のしくみ

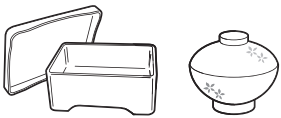
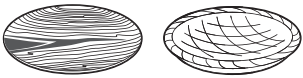
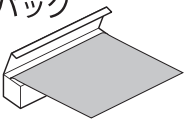
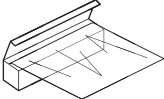
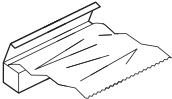
電波（高周波）とヒーターを使用して加熱します。

- 加熱メニュー **7** で調理するときに、自動で使用します。

👉「自動調理 | **7** フライ (21ページ) 参照」

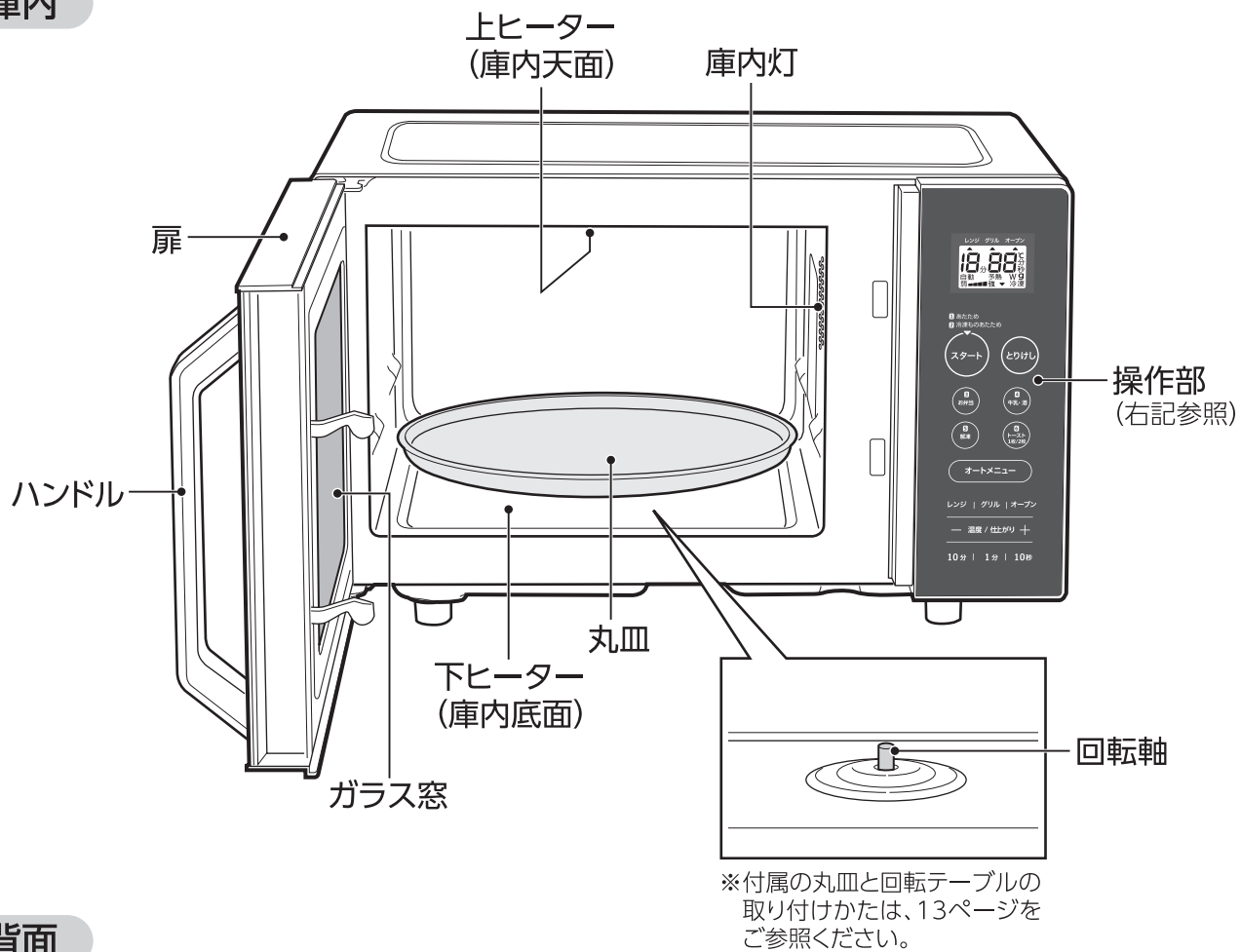
4. 使える容器・使えない容器

容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (グリル・オーブン)
 付属の丸皿		使えます 	
ガラス	耐熱性がある容器 	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると割れることがあります。	
	耐熱性がない容器 	使えません  ・カットグラス・強化ガラスも使えません。	
プラスチック	耐熱性がある (耐熱温度：140℃以上) 	使えます  ・「電子レンジ使用可能」の表示のあるものが使えます。 ・金属製のねじを使用して いるものは使えません。	使えません  ・ただし、オーブン調理で、 設定温度が耐久温度以下 であれば使えます。
	耐熱性がある (耐熱温度：140℃未満) 	使えません  ・耐熱容器でも、ふたは耐熱性でないことがあるため確認してください。 ・熱で変形するものも使えません。(スチロール・ポリスチレン [PE] など) ・ただし、レンジ加熱の解凍や、オーブン加熱の発酵などでは使えます。	
陶磁器	耐熱性がある容器 	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると 割れることがあります。 ・金銀模様・絵柄・ひび模 様のある器は、火花が出 たり、傷んだりすることが あるので使えません。	使えます  ・ただし、急熱・急冷すると 割れることがあります。
	耐熱性がない容器 		使えません 
金属	アルミ・ほうろうなどの 金属容器 	使えません  ・金串、金網、金箔、銀箔の フィルムやテープ、針金の 入ったものも使えません。	使えます 

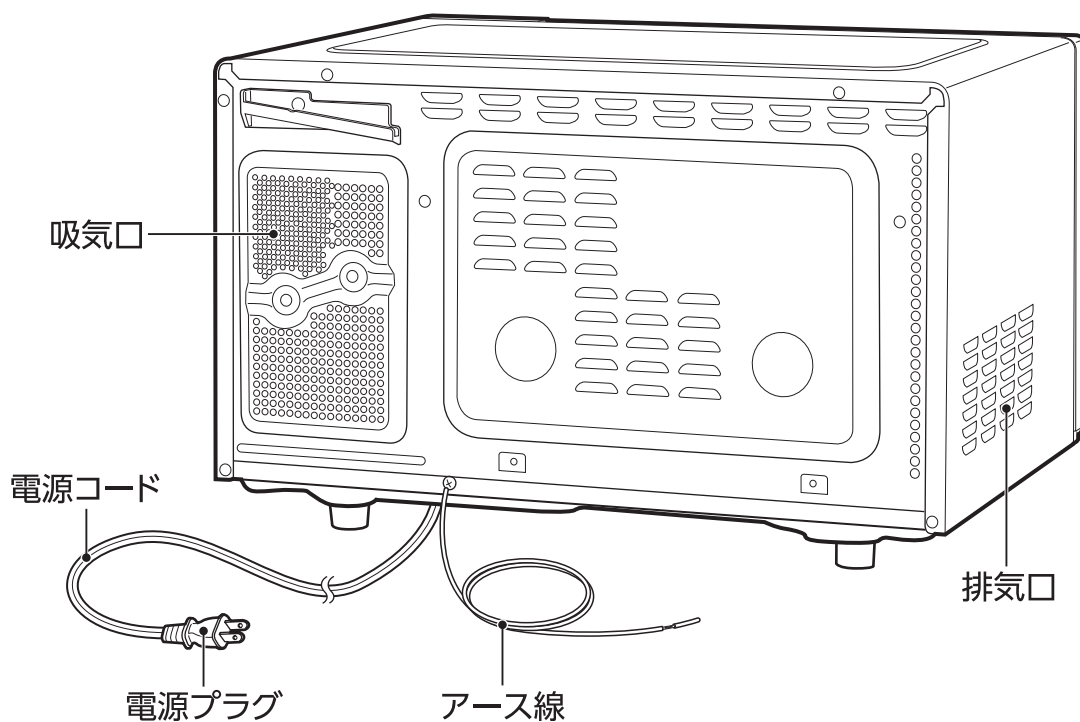
容器の種類		レンジ加熱	ヒーター加熱 (グリル・オーブン)
木・竹・紙	漆器 	使えません  ・塗りがはげたり、ひび割れしたりすることがあります。	
	木・竹・紙 	使えません  ・加熱しすぎると燃えたりすることがあります。 ・釘や針金など金属を使用しているものは使えません。	使えません 
	クッキングペーパー クッキングシート クッキングバッグ 	使えます  ・ただし、加熱しすぎると燃えたりすることがあります。	注意が必要  ・発煙・発火することがありますので、注意して使用してください。
その他	ラップ (耐熱温度：140℃以上) 	使えます  ・ただし、油分の多い料理は耐熱温度より高温になるため使えません。	使えません  ・ただし、オーブン加熱の発酵では使うことがあります。
	アルミホイル 	注意が必要  ・なま物の解凍などで部分的に使うことがあります。(庫内壁面に近づけたり、鋭利な部分を作らないようにしてください。)	使えます  ・ただし、ヒーターに直接触れないようにしてください。また、必ず付属の丸皿の上で使用してください。

5. 各部の名称

庫内



背面



操作部

表示部

加熱時間や出力を表示します。

※説明のためすべての文字を表示しています。

・スタートボタン

・メニュー①・②ボタン

押すと加熱を開始します。

メニュー③～⑥ボタン

加熱メニュー「3～6」を、自動調理で加熱するときに押します。

(☞ 16 ページ)

手動メニューボタン

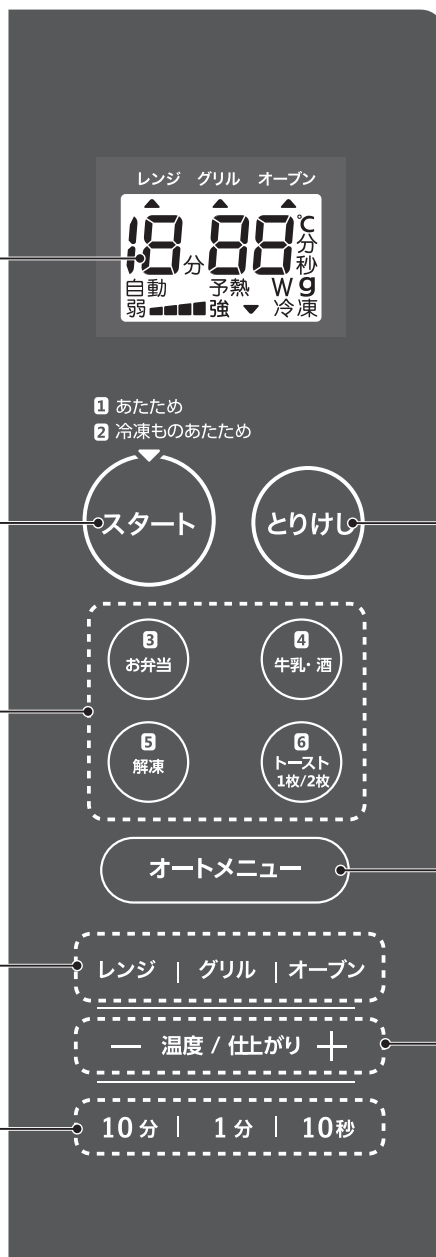
(レンジ／グリル／オーブン)

手動調理で加熱するときに押します。

(☞ 23～29ページ)

時間設定ボタン

手動調理で時間を設定するときに押します。



とりけしボタン

設定を取り消したり、加熱を途中で停止するときに押します。

オートメニュー⑦～⑫ボタン

加熱メニュー「7～12」を選択し、自動調理で加熱するときに押します。

(☞ 16 ページ)

温度／仕上がりボタン

- 温度の設定や仕上がりを調節します。
- 自動調理を行うときや、手動メニューのオープンで調理するときに使用します。

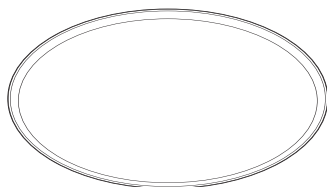
付属品

※破損したり、紛失したときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

丸皿

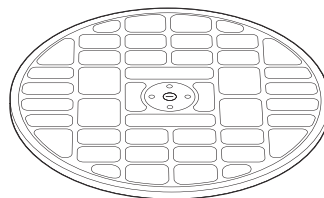
回転テーブルの上に置いてご使用ください。

落としたり、ぶつけたりしないでください。



回転テーブル

必ず庫内にセットしてご使用ください。



※丸皿と回転テーブルの取り付けかたは、13ページをご参照ください。

6. ご使用前の準備

1 5ページの「安全に設置する」に従って、設置する

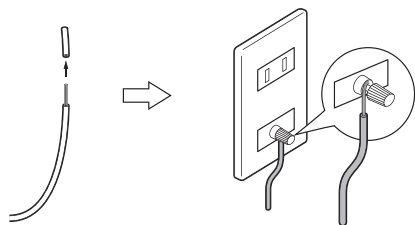
2 扉を開けて、傷防止用のビニールシートを外す

1. 扉固定用のテープを外します。
2. 扉を開けて、傷防止用のビニールシートを外します。
3. 丸皿、回転テーブルを取り出し、梱包材を外します。

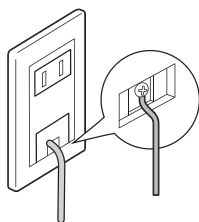
3 アース線を接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- ・アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、誘導部分をアース端子に差し込んで固定します。

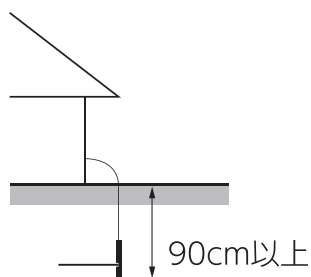


- ・ふた付きの場合は開けて接続してください。



アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店にご相談ください。

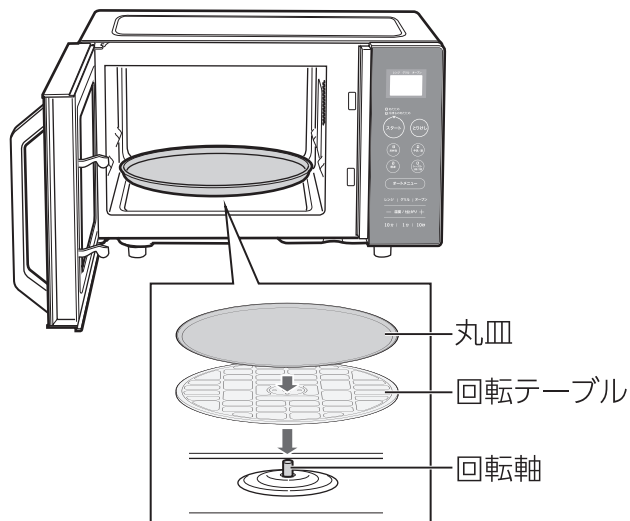


警告

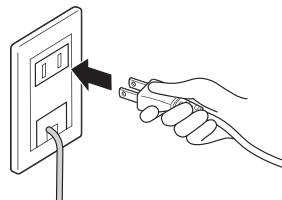
ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

4 回転テーブルを回転軸に取り付け、丸皿をのせる

- ・調理によっては、丸皿は取り外してください。



5 電源プラグをコンセントに差し込む



※初めてご使用になるときは、電源プラグを差し込んでから1分以内に下記の「0点調整」を行ってください。

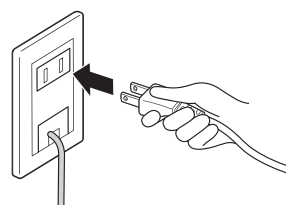
0点調整を行う

- 本機は、重量センサー（内蔵）で食品・食材の重量を計測し、自動調理を行っています。初めてご使用になるときは、0点調整を行ってください。

※精度を保つために、定期的に0点調整を行ってください。

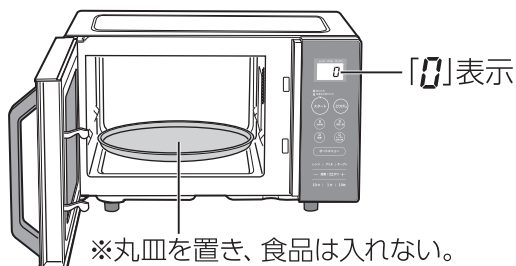
0点調整の目安：1か月に1回程度

1 電源プラグをコンセントから抜き、再度に差し込む



2 扉を開閉して、電源を入れる

- ・庫内灯が点灯し、表示部に「0」が表示されます。
- ・付属の丸皿は、必ず取り付けてください。



3 「とりけし」ボタンを押しながら、「グリル」ボタンを押す

- ・表示部に「10秒」と表示され、0点調整を開始します。



4 10秒経過すると、0点調整が完了

- ・表示部に「Cd」と表示し、正常に完了したことをお知らせします。
- ※電源プラグを差し込んでから1分以上経過した場合や0点調整中に扉を開けた場合、0点調整ができません。その場合、「手順1」からやり直してください。
- ・0点調整が終わったら「とりけし」ボタンを押し、元の状態に戻してください。



から焼きを行う

- オープンやグリルを初めてご使用になるときは、においや煙がでることがあります。ご使用の前から焼きを行ってください。
- から焼きを行うときは、必ず換気をしてください。また、小鳥、小動物は別の部屋に移してから行ってください。

1 扉を開閉して、電源を入れる

- ・庫内灯が点灯し、表示部に「0」が表示されます。

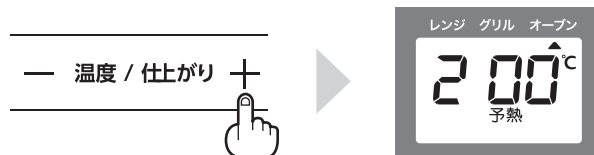


2 「オープン」ボタンを押す

- ※から焼きを途中で停止する場合は、「とりけし」ボタンを押してください。



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、温度を「200℃」に設定する



4 「時間設定」ボタンを押し、時間を「20分」に設定する



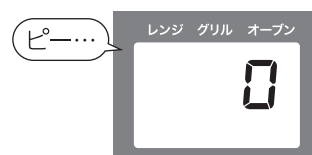
5 「スタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、から焼きを開始します。
- ・表示部に残り時間をカウントダウン表示します。



6 20分経過すると、から焼きが終了

- ・お知らせ音が鳴り、庫内灯が消灯します。
- ※から焼きを行ったあとも、においや煙がでることがありますが、ご使用にともない出なくなります。



注意

加熱中・加熱後は、ガラス窓、庫内、丸皿などが熱くなりますのでやけどにご注意ください。

7. 使いかた | 基本操作

電源の入れかた

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 扉を開けたときは、庫内灯が点灯します。
※庫内灯は約10分後に消灯しますが、電源は切れません。
- ※扉を閉めたあと、無操作状態が約5分間継続すると電源が切れ、表示部が消灯します。
- ※設定中、無操作状態が約1分間継続すると表示部に「0」を表示し、すべての操作が取り消されます。

電源「入」時の表示



操作を取り消すとき／加熱を停止するとき

- 操作を取り消すときや加熱を停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。



加熱を一時停止するとき

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。



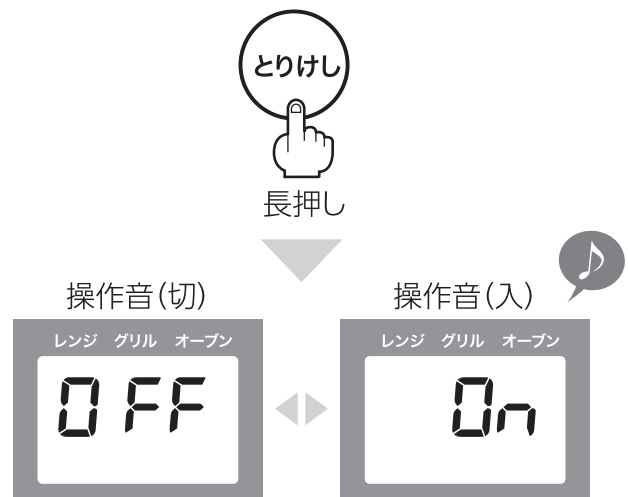
「スタート」ボタンを押すと、加熱を再開します。

取り忘れ防止機能

- 本機は取り忘れ防止のために、調理終了後扉を開けないと、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- お知らせ音は1分ごとに5回くり返し、5分後に電源が切れます。
- 取り忘れ防止機能は、扉を開けると解除されます。

操作音・お知らせ音を消すとき

- 表示部に「0」が表示されているときに、「とりけし」ボタンを3秒以上長押ししてください。長押しするたびに、操作音（入／切）が切り替わります。
- ※停電等から復旧したあとも、設定は記憶しています。



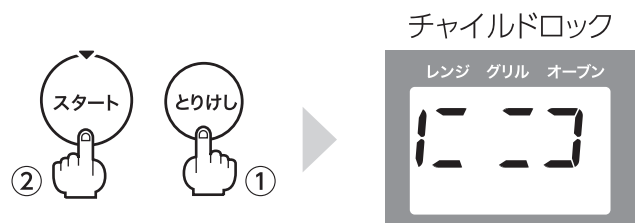
※3秒経過すると、表示部は「0」表示に切り替わります。

チャイルドロック

- お子様のいたずらや誤操作防止のため、チャイルドロックをかけることができます。
- チャイルドロックをかけると、チャイルドロック解除以外の操作ができなくなります。

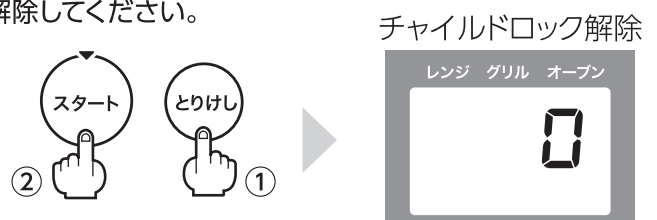
チャイルドロックのかけかた

- ①「とりけし」ボタンを押しながら、
 - ②「スタート」ボタンを押す。
- ※「とりけし」ボタンから押してください。



チャイルドロック解除のしかた

上記の「チャイルドロックをのかけかた」と同じ操作で解除してください。



● 自動調理は、食品の重量を計測し、自動で加熱調理を行います。

加熱メニュー一覧

・「メニュー」ボタン、「オートメニュー」ボタンを使用して自動調理を行うときは、下記をご参照ください。

※調理できる分量は目安です。

表示	加熱メニュー	調理できる分量	加熱方法	備考	参照ページ
1	あたため	100g～600g	レンジ	冷蔵品や常温品など	17ページ
2	冷凍ものあたため	100g～600g		冷凍品など	17ページ
3	お弁当	400g～700g		調味料の容器やまるとのゆで卵などは取り出す	18ページ
4	牛乳・酒	1杯～4杯		加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる	18ページ
5	解凍	100g～400g(肉・魚)		肉や魚などの解凍	19ページ
6-1	トースト 1枚	1枚	グリル	丸皿を取り外す	20ページ
6-2	トースト 2枚	2枚		丸皿を取り外す	20ページ
7	フライ	100g～300g	レンジ+オーブン	フライや揚げ物など	21ページ
8	コーヒー	1杯～4杯	レンジ		18ページ
9	半解凍	300g～500g(さしみ)		さしみなどの半解凍	19ページ
10	お惣菜	300g～500g		お惣菜やおかずなど	18ページ
11	葉・果菜類	100g～400g		ゆで野菜を作るとき	22ページ
12	根菜類	100g～1000g		ゆで野菜を作るとき	22ページ

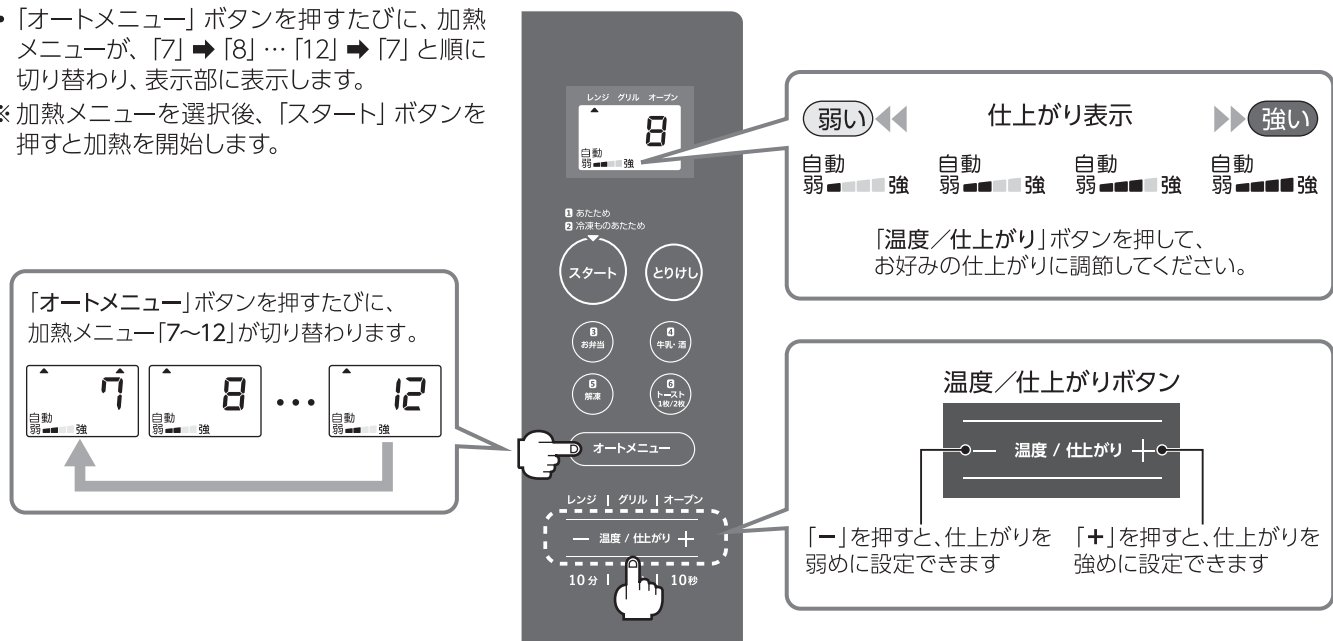
加熱メニュー「7～12」の選択のしかた

- ・加熱メニュー **7** ～ **12** を選択するときは、「オートメニュー」ボタンを押して選択してください。
- ・「オートメニュー」ボタンを押すたびに、加熱メニューが、「7」⇒「8」…「12」⇒「7」と順に切り替わり、表示部に表示します。

※加熱メニューを選択後、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。

自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するときは

- ・自動調理で加熱中に「温度／仕上がり」ボタンを押すと、仕上がりの強弱を調節できます。
- ・仕上がりの強弱は「弱い」～「強い」まで4段階で調節できます。

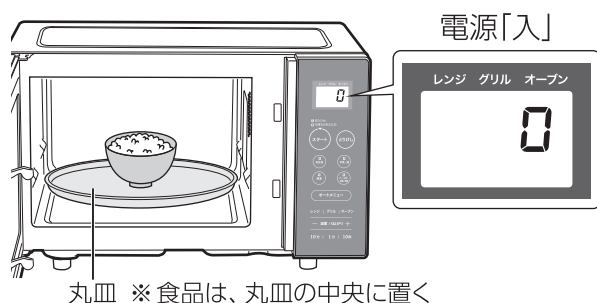


レンジで加熱します

- ・ 金属製の皿・容器などは使用できません。
- ☞「使える容器・使えない容器 (9～10ページ) 参照」

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・ 食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



ワンポイント

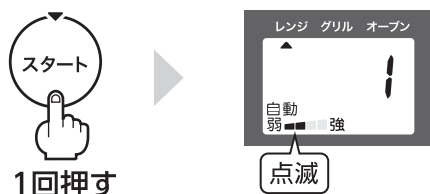
- ・ ごはんはラップをせずに、固めのときは水をふりかけます。
- ・ 市販の調理済み揚げ物のあたためは、フライメニュー (自動調理 | 7 フライ) であたためると、カラッと仕上がります。

2 「スタート (メニュー1・2)」ボタンを1回、または2回押す

- ・ 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。

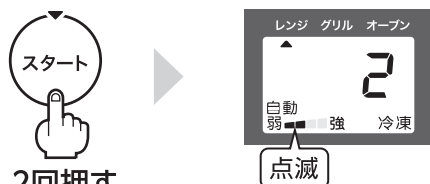
加熱メニューの選択しかた

- 冷蔵品や常温品のあたためる場合 (加熱メニュー：1)



1回押す

- 冷凍品のあたためる場合 (加熱メニュー：2)



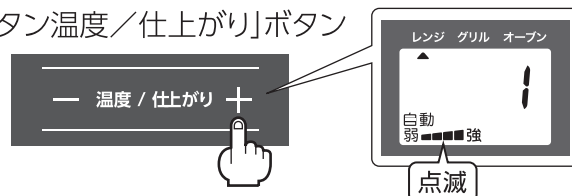
2回押す

※ 押すたびに、「1」と「2」が切り替わります。15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に切り替えてください。

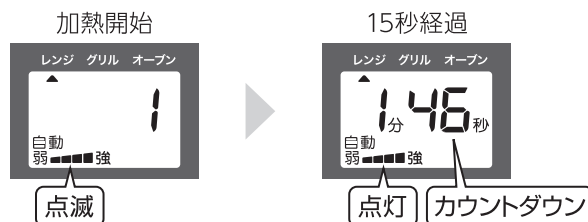
3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

- ・ お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
 - ・ 詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき (16ページ)」をご参照ください。
- ※ 仕上がりの強弱は、15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に調節してください。

「ボタン温度／仕上がり」ボタン



- ・ 加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※ カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

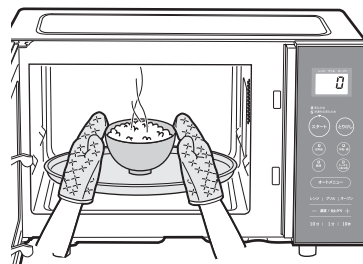
- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

・金属製の皿・容器などは使用できません。

👉「使える容器・使えない容器 (9～10ページ) 参照」



警告

- ・お弁当は、調味料の容器・アルミカップ・まるごとのゆで卵などを取り出してから加熱する
- ・飲みものは、加熱し過ぎないように注意する
- ・飲みものは、加熱前・加熱後にスプーンなどでかき混ぜる
飲みものや油脂分の多い液体（生クリームなど）は、加熱後取り出すときに突然沸騰して飛び散ることがあり、やけどの原因になります。加熱し過ぎたときは、庫内で冷ましてから取り出してください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



丸皿 ※食品は、丸皿の中央に置く

2 「メニュー」ボタン、または「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※「オートメニュー」ボタンで選択した場合、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。
- ・加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、16ページをご参照ください。

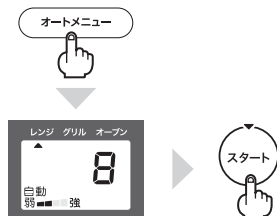
● お弁当をあたためる場合 (加熱メニュー：3)



● 牛乳・酒をあたためる場合 (加熱メニュー：4)

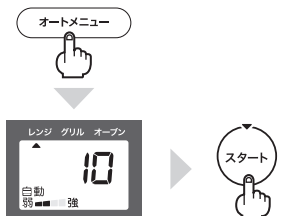


● コーヒーをあたためる場合 (加熱メニュー：8)



※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上りの強弱を調節できます。

● お惣菜をあたためる場合 (加熱メニュー：10)

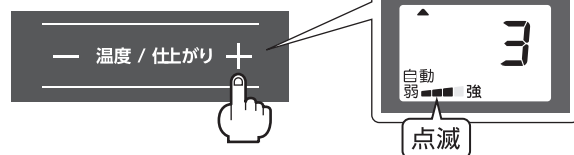


※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上りの強弱を調節できます。

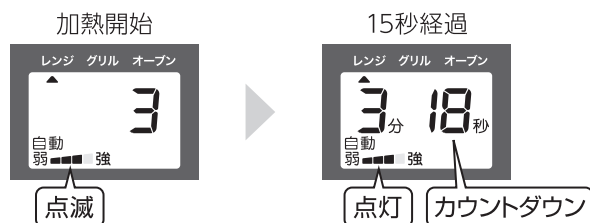
3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上りに調節する

- ・お好みで、仕上りの強弱を調節してください。
詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上りの強弱を調節するとき (16ページ)」をご参照ください。
- ※仕上りの強弱は、15 秒以内（仕上がり表示が点滅中）に調節してください。

「ボタン温度／仕上がり」ボタン



- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上りの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

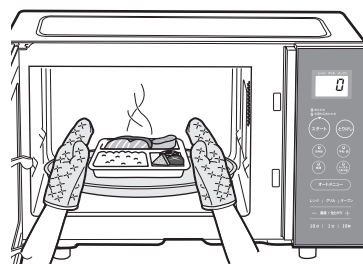
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・加熱が終了すると、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- 金属製の皿・容器などは使用できません。
- 「使える容器・使えない容器 (9~10ページ) 参照」

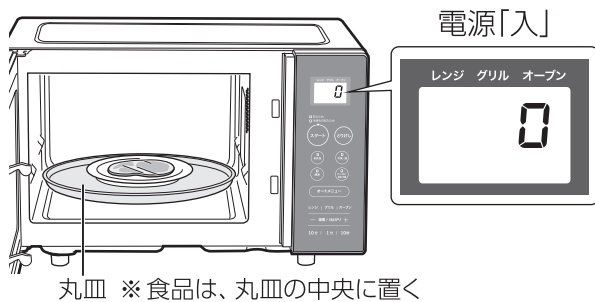
注意

- アルミホイルを使用するときは、庫内壁面に近づけないでください。また、鋭利な部分を作らないでください。火花が出ることがあります。
- 発泡スチロールのトレーは熱で溶けることがありますので、加熱のし過ぎにご注意ください。

- 食材のラップは外し、発泡スチロールのトレーにのせたまま庫内に入れ、扉を閉めてください。発泡スチロールのトレーがないときは、耐熱性の容器に入れてください。
- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 解凍しかかっている食材は仕上がりにむらが出て、一部が煮えてしまうことがあります。解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。
- 少量の食材 (100g未満) は、煮えや変色のおそれがありますので解凍はできません。
- 食材の細かい部分や薄い部分にはアルミホイルを巻くと、煮えや変色をおさえることができます。

1 食材を庫内に入れ、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 食材は、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



2 「メニュー」ボタン、または「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※「オートメニュー」ボタンで選択した場合、「スタート」ボタンを押すと加熱を開始します。
- 加熱メニュー「7~12」の選択のしかたは、16ページをご参照ください。

● 解凍をする場合 (加熱メニュー：5)



● 半解凍をする場合 (加熱メニュー：9)

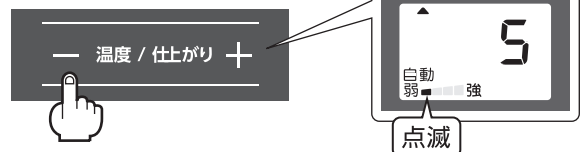


※「スタート」ボタンを押すまでの間に、仕上がりの強弱を調節できます。

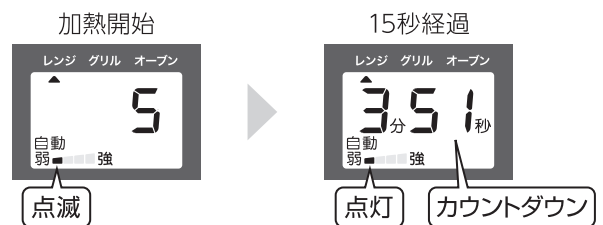
3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

- お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき (16ページ)」をご参照ください。
- ※仕上がりの強弱は、15 秒以内 (仕上がりが表示が点滅中) に調節してください。

「ボタン温度／仕上がり」ボタン



- 加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウンタダウ表示に切り替わります。
- ※カウンタダウ表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

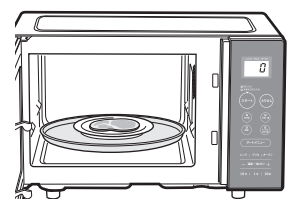
- 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。

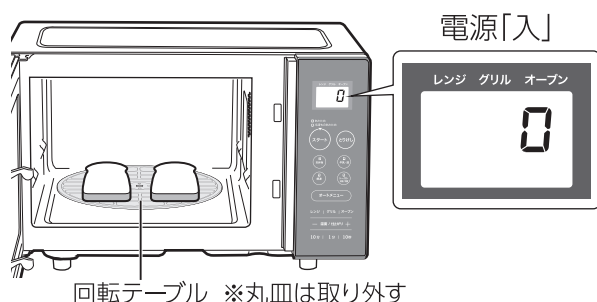


グリル (ヒーター) で加熱します

- ・ 付属の丸皿を取り外し、食パンを回転テーブルの上にのせてください。

1 食パンを回転テーブルにのせ、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。

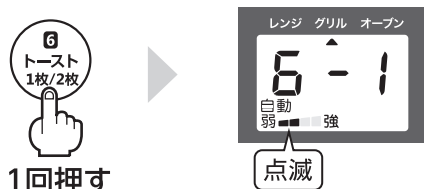


2 「メニュー6」ボタンを1回、または2回押す

- ・ 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。

加熱メニューの選択しかた

- 食パン1枚を加熱する場合 (加熱メニュー: 6-1)



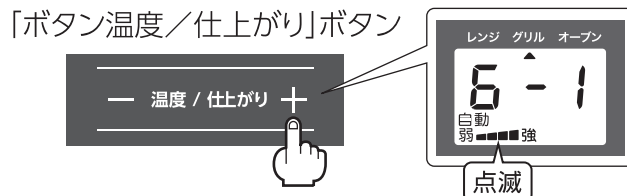
- 食パン2枚を加熱する場合 (加熱メニュー: 6-2)



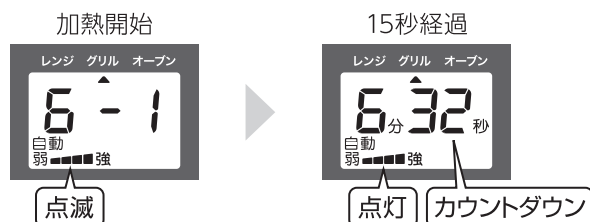
※ 押すたびに、「6-1」と「6-2」が切り替わります。
15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に切り替えてください。

3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がり調節する

- ・ お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。
詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき (16ページ)」をご参照ください。
※ 仕上がりの強弱は、15秒以内 (仕上がり表示が点滅中) に調節してください。



- ・ 加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウンタダウ表示に切り替わります。
※ カウンタダウ表示に切り替わると、加熱メニュー、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

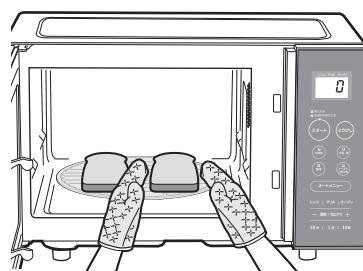
- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

4 加熱終了

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 食パンを取り出すときは、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジとオープン（ヒーター）で加熱します

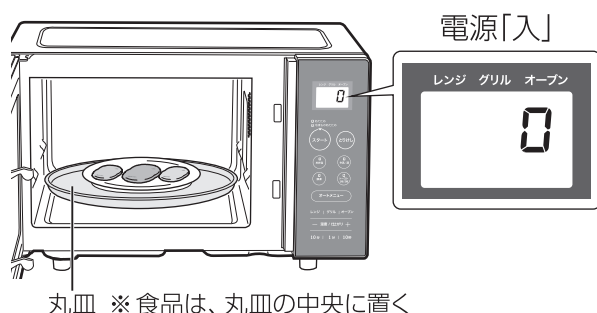
- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
- ・耐熱性のない食器・ラップなどは使用できません。
- ☞「使える容器・使えない容器（9～10ページ）参照」

ワンポイント

- ・フライメニューは、「レンジ加熱」と「ヒーター加熱」であたためます。「加熱のしくみ（8ページ）」をご参照ください。

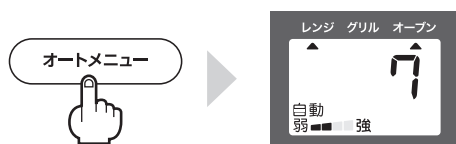
1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



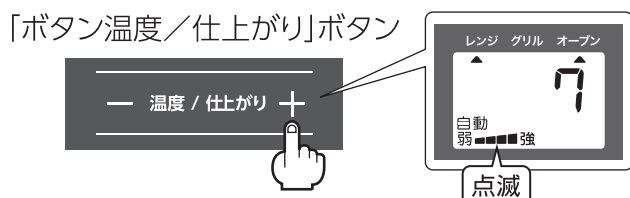
2 「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニュー「7(フライ)」を選択する

- ・加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、16ページをご参照ください。



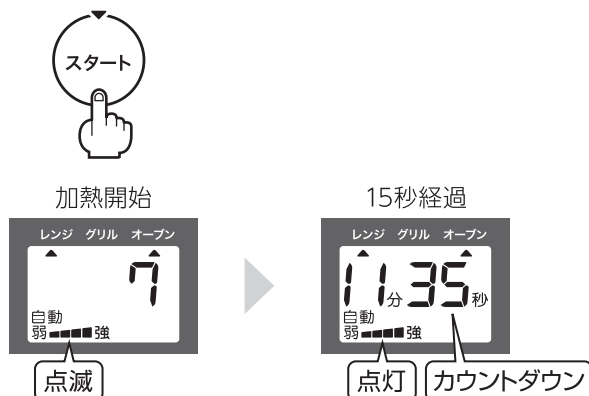
3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、好みの仕上がりに調節する

- ・お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき（16ページ）」をご参照ください。



4 「スタート」ボタンを押す

- ・庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※仕上がりの強弱を再調節するときは、15秒以内（仕上がり表示が点滅中）に調節してください。
- ・加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウンタダウ表示に切り替わります。
- ※カウンタダウ表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

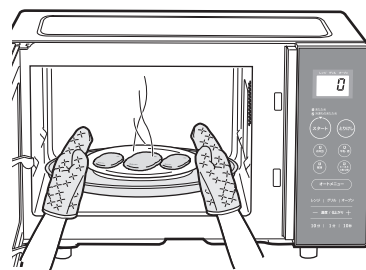
- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ”とお知らせ音が鳴ります。



⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- 金属製の皿・容器などは使用できません。
- 「使える容器・使えない容器 (9～10ページ) 参照」

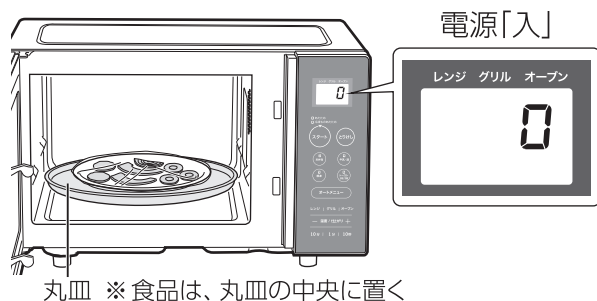
注意

- 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると、火花がでることがあります。100gより少ないときは、手動加熱で調理してください。
- 「手動調理 | レンジ加熱の目安 (24～25ページ)」をご参照ください。

- 食材は3cm以内に厚さをそろえてください。
- 食材は、耐熱皿にできるだけ重ならないように並べ、ラップでおおいます。
- ※油分を含む食材を加熱するときは、ラップの耐熱温度を超えるおそれがありますのでご注意ください。

1 食材を庫内に入れ、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 食材を入れた耐熱皿を、付属の丸皿の中央に置いてください。



2 「オートメニュー」ボタンを押し、加熱メニューを選択する

- 加熱メニュー「7～12」の選択のしかたは、16ページをご参照ください。
- 葉・果菜類をあたためる場合 (加熱メニュー：11)



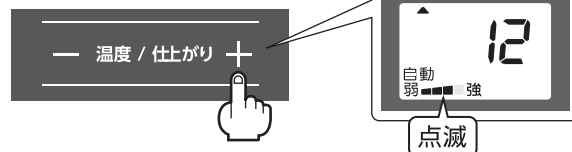
- 根菜類をあたためる場合 (加熱メニュー：12)



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、お好みの仕上がりに調節する

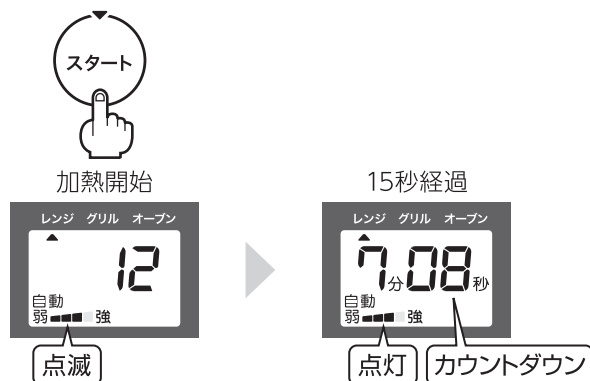
- お好みで、仕上がりの強弱を調節してください。詳しくは、「自動調理で加熱中に仕上がりの強弱を調節するとき (16ページ)」をご参照ください。

「ボタン温度／仕上がり」ボタン



4 「スタート」ボタンを押す

- 庫内灯が点灯し、加熱を開始します。
- ※仕上がりの強弱を再調節するときは、15秒以内(仕上がり表示が点滅中)に調節してください。
- 加熱開始から15秒経過すると、残り時間のカウントダウン表示に切り替わります。
- ※カウントダウン表示に切り替わると、仕上がりの強弱は変更できません。



加熱を停止するときは

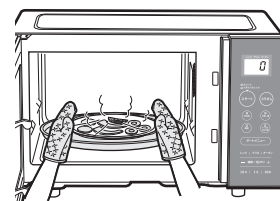
- 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

レンジで加熱します

- ・金属製の皿・容器などは使用できません。
 「使える容器・使えない容器 (9～10ページ) 参照」

- ・量が多いときは、適量に分けて加熱してください。
- ・ごはんやカレーなどは、平たく均一に一人前ずつ冷凍しておく、上手にあたためることができます。
- ・ラップの使いかたは、10ページ、25ページをご参照ください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- ・扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。

2 手動メニューの「レンジ」ボタンを押し、レンジの出力を選択する

- ・表示部に出力が表示されます。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

「レンジ」ボタン

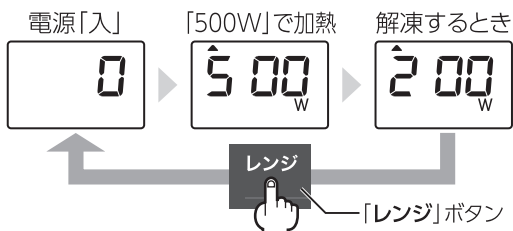


※本製品は、電源周波数「50Hz」地域と「60Hz」地域によって出力(最大出力)の表示が異なります。
 下記の「レンジボタンについて」をご参照ください。
 電源周波数と地域について詳しくは、「電源周波数と地域について(34ページ)」をご参照ください。

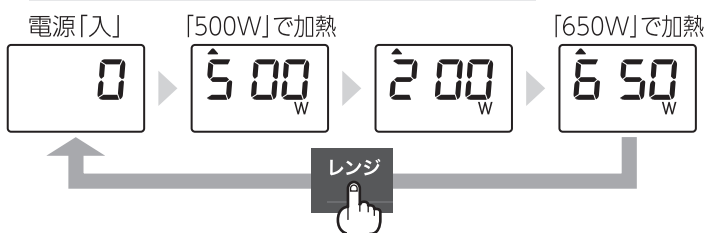
「レンジ」ボタンについて

- ・「レンジ」ボタンを押すたびに、表示部の表示が下記のように切り替わります。

■「50Hz」の地域でご使用の場合(最大出力：500W)



■「60Hz」の地域でご使用の場合(最大出力：650W)



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

「時間設定」ボタン

10分 | 1分 | 10秒



「時間設定」ボタンについて

- ・加熱時間は「650W」、「500W」は「15分」まで、「200W」は「90分」まで設定できます。
- ・0分～20分までは10秒刻みで、20分から90分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた(例：12分30秒に設定する場合)



4 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「レンジ」ボタンを押すと、設定出力が3秒間表示されます。

加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- ・加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- ・加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

手動調理 | レンジ加熱の目安

7.使いかた

※出力650Wで加熱する場合の目安です。500Wで加熱する場合は、加熱時間をもう少し長めに設定してください。

あたため

食 材	分 量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
ハンバーグ	1個(80g)	－	約1分	
ハンバーグ (冷凍)	1個(80g)	する	約1分30秒	加熱後、2～3分ラップをしたまま蒸らす。
焼きとり	6本(150g)	－	約1分	照りを出すため、先にタレを塗る。
てんぷら・フライ	1人前(150g)	－	約1分	キッチンペーパーなどの上に重ならないように並べる。
 注意 ● いかは、はじけることがあるので加熱時間は控えめにしてください。				
フライ (冷凍)	4個(100g)	－	約1分30秒	皿に並べる。
焼そば・スパゲッティ	1人前(200g)	－	約1分30秒	加熱後かき混ぜる。パサつきがあるときは、サラダ油かバターを少し混ぜる。
ピラフ (冷凍)	1人前(250g)	する	約4分30秒	あらかじめ、ほぐしておく。
ごはん (冷凍)	1杯(150g)	する	約2分30秒	
焼きおにぎり (冷凍)	1個(80g)	する	約1分	
おにぎり	1個(80g)	－	約30秒	
まんじゅう	1個(65g)	－	約20秒	あんが熱くなるため、控えめに加熱する。
肉まん・あんまん	1個(110g)	する	約40秒	底の紙がある場合は取り除き、さっと水にくぐらせたあと、1個ずつゆったりとラップに包む。
 注意 ● あんまは、先にあんが熱くなり、3分以上 (冷凍品は4分以上) 加熱すると発煙・発火のおそれがあります。				
しゅうまい (冷凍)	1袋(230g)	する	約3分	上下両面に水をふりかけて加熱する。
みそ汁	1杯(150g)	する	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
煮物	1人前(200g)	する	約1分30秒	
カレー・シチュー	1人前(200g)	する	約1分30秒	加熱後にかき混ぜる。
丼物	1人前(350g)	する	約2分	
牛乳 (冷蔵)	1杯(200mL)	－	約1分30秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
お酒 (常温)	1本(180mL)	－	約1分	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
茶わんむしのあたため	1個	－	30～60秒	様子を見ながら加熱する。
ロールパンのあたため	2個(80g)	－	約20秒	時間がたつと固くなるため、食べる直前に加熱する。
今川焼き (冷凍)	1個(90g)	する	約1分30秒	
ミックスベジタブル(冷凍)	100g	する	約1分30秒	
 注意 ● 小さく切ったにんじんなどを少量だけ加熱すると火花が出ることがあります。100gより少ないときは、大きめの容器に野菜が浸るくらいの水を入れ、ラップをして加熱してください。(にんじん50g+水50mLで約2分)				
里いも (冷凍)	300g	－	約10分	

※レトルト食品などで500Wが推奨されている場合は、「レンジ」ボタンで「500W」を選択してください。

※出力650Wで加熱する場合の目安です。500Wで加熱する場合は、加熱時間をもう少し長めに設定してください。

ラップの使いかた

・ラップをするもの

- ・煮物、蒸し物、汁物、調理済みの冷凍食品全般など、しっとり仕上げたい場合
- ・具の多いスープなど、はじけるおそれのあるもの

・ラップをしないもの

- ・ごはんもの、揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばし気味にしたい場合

ゆで野菜

食 材	分 量	ラップ	加熱時間	ワンポイント
じゃがいも	150g	する	約3分	まるごと加熱する場合は、丸皿の中央を避けて置く。
さつまいも				
にんじん	200g	－	約6分	・用途に合わせて切っておく。 ・容器に入れ、浸るくらいの水を加える。
だいこん	200g	する	約4分	大きさをそろえておく。
キャベツ・白菜	200g	する	約2分30秒	芯の太いものは、あらかじめ取り除く。
ほうれん草	200g	する	約2分	葉と茎を交互に重ねてラップに包む。
カリフラワー	200g	する	約2分30秒	・小房に分けておく。 ・あらかじめ食塩水に浸けておく。
ブロッコリー				
グリーンアスパラガス	200g	する	約2分30秒	根元の固い皮を取り、軽く塩でもんでおく。



警告

- ・繊維質の多い食材は、発煙・発火することがあります。ラップをする、加熱しすぎないなど、注意して調理してください。



注意

- ・加熱時間は目安であり、分量や調理状態により異なります。必要以上に加熱すると、発煙・発火の原因になりますのでご注意ください。

グリル(ヒーター)で加熱します

- 金属製の皿・容器などは使用できません。
☞「使える容器・使えない容器(9~10ページ) 参照」

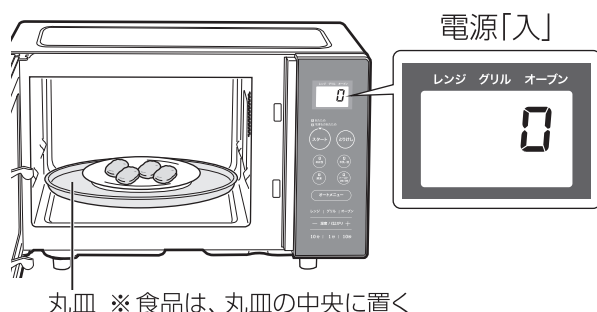
- グリル加熱では温度の設定ができません。手動で時間を設定して、仕上がりを調節してください。

ワンポイント

- パンを加熱し、焼き色をつけたい場合などは、付属の丸皿を取り外し、回転テーブルの上にパンを直接のせてください。

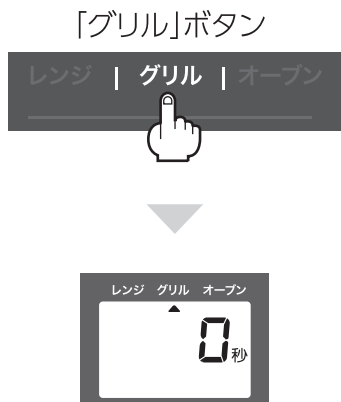
1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



2 手動メニューの「グリル」ボタンを押す

- 表示部が、時間設定表示に切り替わります。
- 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



3 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

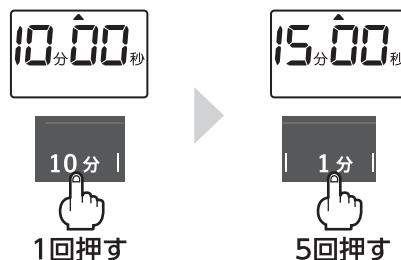
「時間設定」ボタン



「時間設定」ボタンについて

- 加熱時間は「30分」まで設定できます。
- 0分~20分までは10秒刻みで、20分から30分までは1分刻みで設定できます。
- 「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた(例: 15分に設定する場合)



4 「スタート」ボタンを押す

- 加熱を開始します。
- 加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。



加熱を停止するときは

- 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱終了

- 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

オープン (ヒーター) で加熱します

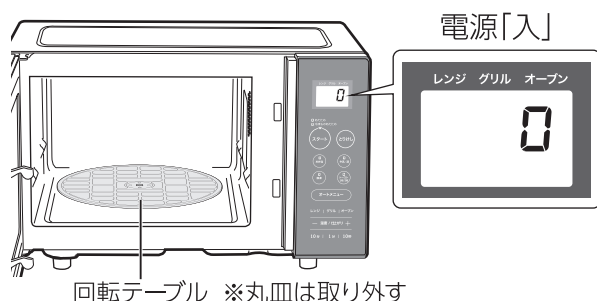
- ・ 金属製の皿・容器などは使用できません。
 ☞「使える容器・使えない容器 (9～10ページ) 参照」

予熱ありの場合

- ・ 予熱をして庫内の温度を上げてから、調理します。

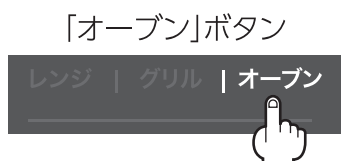
1 付属の丸皿を取り外し、扉を閉める

- ・ 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- ※丸皿は、予熱が終わったあと庫内に置きます。



2 手動メニューの「オープン」ボタンを押す

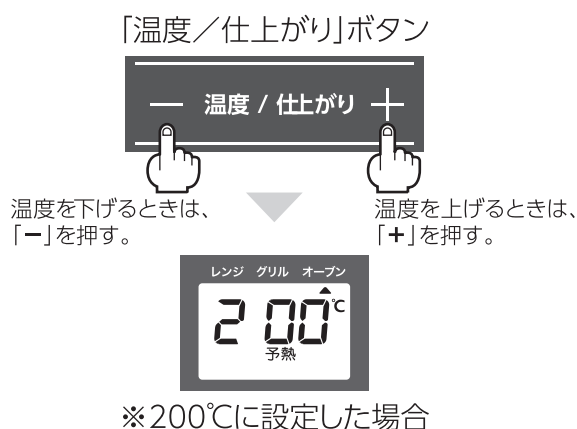
- ・ 表示部が、温度設定表示に切り替わります。
- ・ 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、予熱温度を設定する

「温度／仕上がり」ボタンについて

- ・ 予熱温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で 10℃ 刻みで設定できます。
- ※「40℃」を選択した場合は予熱はできません。「予熱」の表示が消灯し、発酵メニューで加熱します。
- ☞「予熱なし・発酵の場合 (29 ページ) 参照」
- ・ 「温度／仕上がり」ボタンを押し続けると連続して温度が切り替わります。
- ・ 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



4 「スタート」ボタンを押す

- ・ 加熱を開始します。
- ・ 加熱中は庫内灯が点灯し、表示部の「予熱」、「▲」の表示が点滅します。



加熱を停止するときは

- ・ 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・ 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・ 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

5 加熱 (予熱) 終了

- ・ 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。
- ・ 表示部の表示がすべて点滅します。
- ※ 予熱が終了しても、扉を開けるまでは加熱運転を継続します。

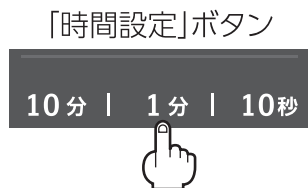


6 付属の丸皿を回転テーブルに置き、食品を丸皿にのせ、扉を閉める

- ・扉を開けると、表示部が点滅から点灯に切り替わります。
- ・食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



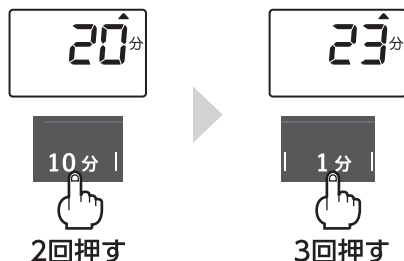
7 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する



「時間設定」ボタンについて

- ・加熱時間は「90分」まで設定できます。
- ・0分～20分までは10秒刻みで、20分から90分までは1分刻みで設定できます。
- ・「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- ・設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

■時間設定のしかた (例：23分に設定する場合)



8 「スタート」ボタンを押す

- ・加熱を開始します。
- ・加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- ・加熱中に「オープン」ボタンを押すと、設定温度が3秒間表示されます。



加熱を停止するときは

- ・加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- ・加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- ・加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

9 加熱終了

- ・加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。

⚠ 注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

オープン(ヒーター)で加熱します

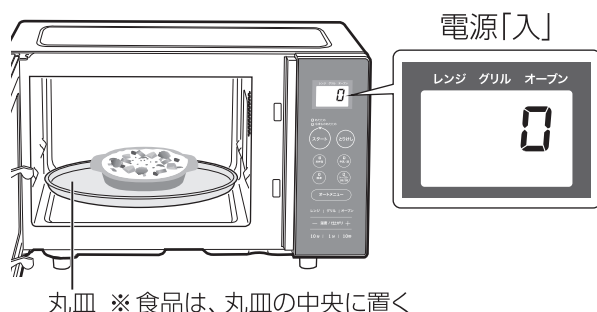
- 金属製の皿・容器などは使用できません。
- 「使える容器・使えない容器(9~10ページ) 参照」

予熱なし・発酵の場合

- 予熱をせずに加熱を開始します。調理後、庫内の温度が上がっているときや、食品を低温から調理するときに使用します。
- 発酵をするときは、温度を「40℃」に設定してください。

1 食品を庫内に入れ、扉を閉める

- 扉を開けると電源が入り、表示部に「0」を表示します。
- 食品は耐熱性の容器に入れ、付属の丸皿の中央に均等に配置してください。



2 手動メニューの「オープン」ボタンを押す

- 表示部が、温度設定表示に切り替わります。
- 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



3 「温度／仕上がり」ボタンを押し、加熱温度を設定する

「温度／仕上がり」ボタンについて

- 加熱温度は、「100℃」～「200℃」の範囲で 10℃ 刻みで設定できます。
- 発酵を行うときは、「40℃」に設定してください。
- 「温度／仕上がり」ボタンを押し続けると連続して温度が切り替わります。
- 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。



発酵：40℃



オープン：100℃～200℃

4 「時間設定」ボタンを押し、加熱時間を設定する

「時間設定」ボタン



※20分に設定した場合

「時間設定」ボタンについて

- 加熱時間は「90分」まで設定できます。
- 0分～20分までは10秒刻みで、20分から90分までは1分刻みで設定できます。
- 「時間設定」ボタンを押し続けると連続して時間が切り替わります。
- 設定を取り消すときは、「とりけし」ボタンを押してください。

5 「スタート」ボタンを押す

- 加熱を開始します。
- 加熱中は庫内灯が点灯し、表示部に残り時間をカウントダウン表示します。
- 加熱中に「オープン」ボタンを押すと、設定温度が3秒間表示されます。



カウントダウン

加熱を停止するときは

- 加熱を途中で停止するときは、「とりけし」ボタンを押してください。

加熱を一時停止するときは

- 加熱中に扉を開けると、加熱を一時停止します。
- 加熱を再開するときは、扉を閉め、「スタート」ボタンを押してください。加熱を再開します。

6 加熱終了

- 加熱が終了すると、「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、ピッ」とお知らせ音が鳴ります。



注意

- 加熱中・加熱直後はガラス窓や庫内壁面が熱くなりますので、やけどにご注意ください。
- 加熱後しばらくは容器が熱くなっていますので、ミトンやふきんなどを使用して取り出してください。

8. お手入れ



注意

- お手入れは、必ず本体が冷めてから行ってください。
- 食材の残りや汚れが残ったまま放置しないでください。火災の原因になります。

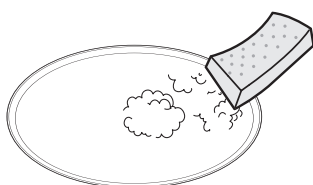
お願い

- 使用後は、早めにお手入れを行ってください。
- みがき粉、たわし、シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。

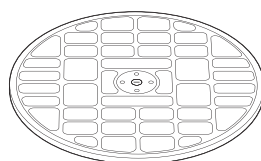
丸皿・回転テーブル

薄めた台所用中性洗剤で洗い、水で流す

- 洗ったあと、よく乾かしてください。



丸皿



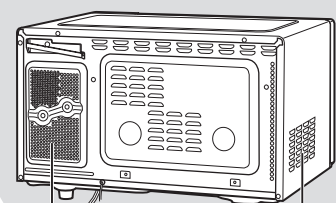
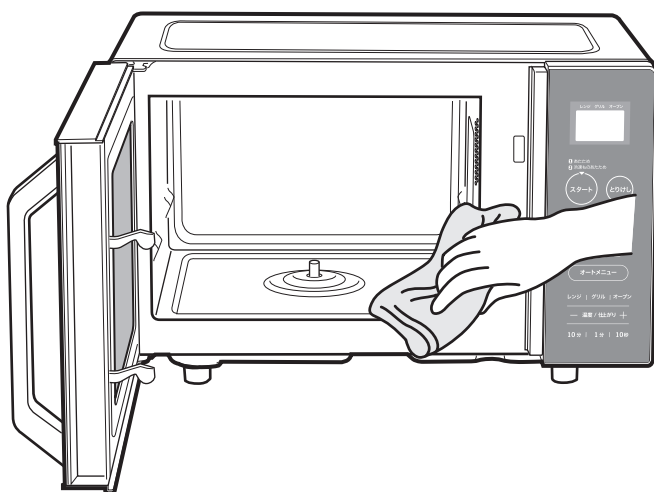
回転テーブル

※取り付けかたは、
「6. ご使用前の準備 (13 ページ)」を
ご参照ください。

本体・庫内

よくしぼったふきんで拭く

- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- 吸気口・排気口のほこりも拭き取ってください。
- 庫内のお手入れを行うときは、丸皿と回転テーブルを取り外してお手入れを行ってください。



吸気口

排気口



注意

- 庫内は汚れがついたままにしないでください。火災の原因になります。

9. 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点をご確認ください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

状 態	考えられる理由	処 置
扉を開けても、電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 電源ブレーカーが入っていない	● 安全を確認のうえ、電源ブレーカーを入れください。
ボタンを押しても反応しない	● 電源が切れている（表示が消えている）	● 扉を開けて電源を入れてください。
加熱中に電源が切れる（ブレーカーが切れる）	● 使用できる電気の量を超えている	● 他の電気製品の電源スイッチを切る、別のブレーカーの回路に接続するなどして、回路の容量を超えないようにしてください。
動作しない	● 扉がしっかり閉まっていない	● 扉をしっかり閉めてください。
動作しない エラー表示：E00	● 回転テーブルを取り付けていない	● 「とりけし」ボタンを押して、回転テーブルを取り付けてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示：E01	● 食品の量が多すぎる	● 「とりけし」ボタンを押して、食品の分量を減らしてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示：E02	● 食品の量が少なすぎる	● 「とりけし」ボタンを押して、食品の分量を増やしてから調理を行ってください。
動作しない エラー表示：E03、E04、E05、E06、E07	● 本機が故障している	● ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
操作音・お知らせ音が鳴らない	● お知らせ音が「切」になっている	● 「とりけし」ボタン 3 秒間押し続け、お知らせ音を「入」にしてください。
1 分ごとに、「ピッ」と 5 回鳴る	● 調理後、食品を取り忘れている	● 食品の取り忘れ防止機能によるお知らせ音です。お知らせ音は、扉を開けると止まります。
解凍すると、むらが出て一部が煮える	● 食材に細かい部分、薄い部分がある	● 食材の薄い部分や細かい部分にアルミホイルを巻くと、煮えや変色を防ぐことができます。
	● 半解凍されてる食材を使用した	● 食材の凍った部分と解凍された部分では熱の通りかたが違います。食材は、解凍する直前まで冷凍庫から出さないでください。

状 態	考えられる理由	処 置
食品が あたたまらない	● 食品がアルミホイルなどでおおわれている	● 食品がアルミホイルなどでおおうと、加熱されません。
	● 庫内や容器に水滴がついている	● 水滴に熱が吸収されると食材が充分にあたまりません。水滴がついている場合は、拭き取ってから使用してください。
	● 冷凍品を「あたため」メニューであたためている	● 冷凍品は熱が通りにくいため、「解凍」メニュー、「半解凍」メニューを使用してください。
火花が出る	● アルミホイルが庫内壁面に近い	● アルミホイルを庫内壁面から離してください。
	● アルミホイルなどに鋭利な部分がある	● アルミホイルは鋭利な部分を作らないでください。
	● 金属模様のある容器を使用している	● 金属模様のある容器は使用しないでください。
	● 庫内に食品かすなどが付着している	● 庫内のお手入れを行ってください。
加熱中に、 「ブーン」という音が 大きくなったり、 小さくなったりする	● 本機が加熱をコントロールしているため	● 故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱中に、 「カチッ」という音が する		
加熱中に、 「ボコン」という音が する	● 調理の熱で庫内壁面が膨張するため	● 故障ではありません。そのままご使用ください。
加熱が終了しても ファンの音がする	● 加熱が終了したあとも本体内部を冷却するためにファンが回転するため	● 本体内部が冷却されるまでお待ちください。 ※ファンの回転中は、電源プラグを抜かないでください。
煙が出る においがする	● 初めて使用する前に、から焼きをしていない	● 初めてご使用になる前に、から焼きを行ってください。
レンジ加熱中、 扉に水滴がつく	● 食品から出た水蒸気により、扉が結露するため	● 故障ではありません。結露した場合は、ふきんなどで拭き取ってください。
丸皿が回転しない	● 丸皿・回転テーブルが正しく取り付けられていない	● 丸皿・回転テーブルを正しく取り付けてください。
	● 食器や容器が庫内壁面に引っかかっている	● 食器や容器は、庫内壁面に触れないように置いてください。

それでも解決できないときはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

10. 仕様

品 番		CFM-BA161	
電 圧		AC 100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
レンジ	定格消費電力	920W	1250W
	定格高周波出力	500W※ ¹ 、200W	650W※ ¹ 、500W※ ¹ 、200W
	発振周波数	2450MHz	
	タイマー	10 秒～15 分 (650W、500W)、10 秒～90 分 (200W)	
グリル	定格消費電力	1250W	
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W	
	タイマー	10秒～30分	
オーブン	定格消費電力	1250W	
	ヒーター出力	上ヒーター：750W、下ヒーター：450W	
	温度調節	40℃ (発酵)、100～200℃	
	タイマー	10秒～90分	
外形寸法 (ハンドル・突出部を除く)		幅 461 × 奥行き 329 × 高さ 293 mm	
加熱室の有効寸法		幅 280 × 奥行き 286 × 高さ 168 mm	
丸皿径		260mm	
庫内総容量※ ²		約 16L	
製品質量		13.1kg	
区分名※ ³		B	
電子レンジ機能の年間消費電力量※ ⁴		62.3kWh / 年	
オーブン機能の年間消費電力量※ ⁴		10.5kWh / 年	
年間待機時消費電力量※ ⁴		0.0kWh / 年	
年間消費電力量※ ⁴		72.8kWh / 年	
電源コードの長さ		1.5m	

※¹ 高周波出力650W、500Wは短時間高出力機能 (15分) であり、調理中自動的に350Wに切り替わります。

※² 庫内総容量とは、JISの判定基準にもとづき算出された容量です。

※³ 区分名は、家庭用品品質表示法および省エネ法にもとづき、機能・加熱方式・庫内容量の違いで分かれています。

※⁴ 年間消費電力量は、省エネ法特定機器「電子レンジ」測定法により測定した数値です。実際に使用する年間消費電力量は、周囲環境・使用回数・使用時間・食材の量によって左右されます。

電源プラグをコンセントに接続した状態で、表示部が消灯しているとき (待機時) の消費電力は0Wです。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

11. 保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間内でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

12. 電源周波数と地域について

本製品は、電源周波数「50Hz」地域と「60Hz」地域のどちらの地域でもご使用になれますが、ご使用になる地域によって、手動メニューの「レンジ」ボタンを押したときの出力表示が異なります。

※「レンジ」ボタンについて、詳しくは「手動調理|レンジ」(P.23ページ)をご参照ください。

地域により周波数が異なります。

- ご使用になる地域の周波数をご確認ください。

● 50^{ヘルツ}Hz 地域

北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、栃木、群馬、埼玉、茨城、東京、千葉、神奈川、山梨

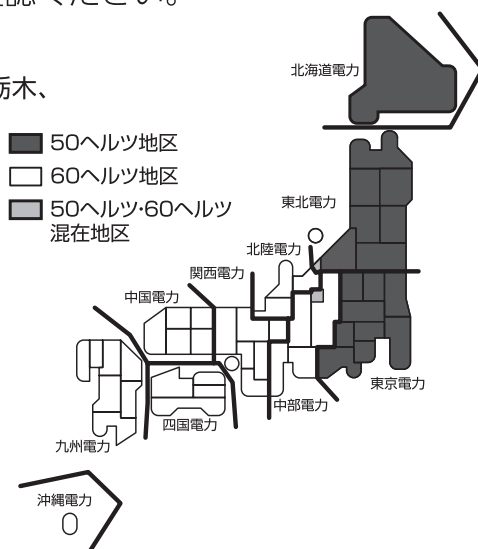
● 混在^{ヘルツ}地域 (50^{ヘルツ}Hz・60^{ヘルツ}Hz)

長野、静岡、新潟

※混在地域に関しては、使用地域の周波数を電力会社、不動産会社等にご確認下さいませ。

● 60^{ヘルツ}Hz 地域

富山、石川、岐阜、愛知、福井、滋賀、三重、京都、大阪、奈良、岡山、和歌山、兵庫、鳥取、島根、広島、山口、香川、愛媛、高知、徳島、福岡、大分、宮崎、佐賀、熊本、長崎、鹿児島、沖縄



■ ご使用になる地域の電源周波数が不明のときは、お近くの電力会社営業所にお問い合わせください。

■ 必ずアース線を取り付けてご使用ください。

オーブンレンジ 保証書

持込修理

品 番	CFM-BA161		
保証期間	本 体	お買い上げ年月日	年 月 日より1年間
お 客 様	お 名 前 ご 住 所	様 電話 () 〒	
販 売 店	店 名 住 所	電話 () (印)	

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

上記「保証期間」中に故障が発生した場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 所定記入欄が空欄のままですと、本書は有効とはなりません。記入のない場合は直ちに買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品等で修理依頼ができない場合には、下記に記載の連絡先までご相談ください。
- 保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤りや不当な修理、改造による故障及び損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の転倒、使用場所の移動、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - (ハ)火災、地震、風水害、ガス害、落雷、その他天災地変、公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ)一般家庭用以外（業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ)本書のご提示がない場合。
 - (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

*お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

*この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

*保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

本書に記載の内容とは異なる方法や目的で使用されますと、保証の対象外となります。
また、生じた損害についても弊社は一切責任を負いません。

商品の修理サービスについてのご相談

- 修理、お取り扱いなどのご相談は、まずは、お買上の販売店にお申し付けください。
- 転居や贈答品などでお困りの場合は、弊社のサービスセンターへお問合せください。

お電話でのお問合せ

日本美的サービスセンター

受付時間：午前10時～12時・午後1時～6時



0120-547-032 (無料)

- ・PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
- ・土日・祝日、年末年始、お盆期間は休業とさせていただきます。

Eメールでのお問合せ

cs_jp@feelcomfee.com

お問合せの際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・電話番号をご記入ください。

販売元：日本美的株式会社

大阪府大阪市港区弁天1-2-1大阪ベイツタワー10F